

アンケート集計及び分析

①【問 2①】P4	自動車運転免許証の有無と自主返納について
<ul style="list-style-type: none"> 全体では、「免許証を持っていて、運転している」が81%、「免許証はもっていない」が11%の順となっている。 額田地区では、「免許証を持っていて、運転している」が他地区と比較し高くなっている。 	
②【問 2②③】P5・6	運転免許証を返納した（しようと思う）年齢・理由
<ul style="list-style-type: none"> 全体では、「80歳頃」が29%、「75歳頃」が21%の順となっている。 矢作地区及び額田地区では、「返納するつもりはない」が他地区と比較し高くなっている。 「運転に自信がなくなったから」が55%、「運転中に危ない場面があったから」が24%の順となっている。（各地区ともほぼ同様の傾向となっている。） 	
③【問 2④】P8	運転免許証返納後に利用している（利用したい）移動手段
<ul style="list-style-type: none"> 全体では、「名鉄バス」が56%、「家族・知人などによる送迎」が32%の順となっている。 地区別にみると岡崎地区及び六ツ美地区の「JR 東海道本線」、東部地区の「名鉄名古屋本線」、額田地区の「額田地域コミュニティ交通」が高くなっている。 	
④【問 2⑤】P10	運転免許証を返納した後、外出や移動に不便を感じていること
<ul style="list-style-type: none"> 全体では、「日常生活に不便を感じている」が36%、「不便さは感じていないが、外出や移動回数が減った」が29%の順となっている。およそ半数以上の方が不便さを感じていない結果となった。 矢作地区及び六ツ美地区では、「日常生活に不便を感じている」が他地区より高くなっている。 	
⑤【問 3①】P11	普段（平日）の主な外出目的
<ul style="list-style-type: none"> 全体では「通勤」及び「買物」目的で7割を占める。 「通院」の割合は4.9%で、東部、矢作、額田は他地域と比較すると高い。 	
⑥【問 3③】P12	お出かけする際に利用する交通手段
<ul style="list-style-type: none"> 全体では、「自動車(運転)」が71%、「鉄道」が40.9%、「バス」が22.1%となっている。 岡崎・矢作地区では、「鉄道」が50%以上となっている。 額田地区では、「自動車(運転)」が86%と高くなっている。一方、「自転車」「徒歩」が低い。 	
⑦【問 5②③】P25	交通手段「バス」の満足度と不満項目
<ul style="list-style-type: none"> 満足度は、全体で「不満+やや不満」が43%と「満足+やや満足」の31%を上回る。 H27年度結果と比較した場合、「不満+やや不満」の割合が5.6ポイント増加している。 不満項目は、全体で「運行本数が少ない」が36%と最も高く、次いで「運賃が高い」が14%となっている。 地区別に見た場合、全体で挙げられた項目以外に、岩津地区で「時刻表どおりに来ない」、六ツ美地区で「運行情報が分かりにくい」が高い。 	

⑧【問 7】P49	岡崎市の将来の交通体系について
<ul style="list-style-type: none"> 全体では、「とても重要+重要」が「道路や橋梁の耐震化など、災害時に備えた交通施設が整備されたまち」で93%、次いで「市内のどこから（へ）でも、公共交通で安心して出かけることができるまち」で91%と高くなっている。 各地区とも全体の結果とほぼ同様な傾向にある一方で、「④利用者が少ない赤字の路線でも、税金を投入して路線を存続していくまち」は44.8%である。 	
⑨【問 8】P58	交通の適正化に向けて参加・協力できることについて
<ul style="list-style-type: none"> 全体では、「⑧駅や沿線の景観向上に向けた取り組みに参加する（植栽、清掃など）」、「⑨公共交通を利用したツアーやイベントに参加する（ウォーキングなど）」及び「⑩交通に関する意見交換会（ワークショップ）や地域の会合に参加する」以外の項目は「参加・協力できる」の割合が半数を超えている。 	

【自由意見抜粋】

自由意見件数：379件

- 公共交通機関が利用しやすいよう、無料駐輪場は残してほしい。
- 刈谷市のような主要な場所への無料バスの試験的導入。
- 年寄りが年金もらって旅行に行ったり遊んでいてはだめだと思います。できる事、ボランティア、例えば道路のごみ拾いとか、子供の登下校時に歩くとか色々あると思うので、私は行っております。
- タクシー券（無料）発行してほしい。バスの無料化、又は相乗り。
- 高齢者が買物や病院へ行く手段を近くの方々が協力して手伝えるにはどうしたらよいのか情報が欲しい。
- 無料のまちバスがほしい。（スーパーや医療機関の停留所があって、その企業がお金を補助する）
- 免許を返納したら、はずれは移動できない。バスの本数のない、はずれこそ市のまちバスが必要。赤字はあたり前。
- 子どもの学校や園から帰り、ならい事、買い物・・・などを考えるとバス停がない事、時間まで待たないといけないこと。荷物があること・・・いろんな理由で自動車になってしまい、公共交通機関を利用するのがおっくうで使わないです。
- 過疎地での赤字公共交通を廃止して、近隣の人にお互いに乗車させてもらい事故が起きた場合は特別な傷害保険の確立をしたらどうか。（赤字路線を税金で補填は税金の不平等だと思う）